

1. 科学のABC

科学に時代は関係ないし、私たちは生まれながらの科学者だし、物事の考え方や考え方の自由にはさうに感じて。

自由にはまとう = ~~たまご~~ ^{たまご} いと。

（疑問）は、たこととEAとしてB,C,Eを考えるものにあとはめると
XそれをTとしてみると、きに分かれやす」「なりうた」と思つた。不満

無意識に受け入れる現象は「潜伏記憶」ともいわれる。つまり、いつかは覚えていたりする。

日常生活で 制度の ABC を行なって「がんばれ」と思って、生活では 日々の事実が「がんばれ」、制度が「がんばれ」と思つた。

大げさでなく、みなさんの人生が変わる話をしていくつもりです！変身！

日常生活からあまり前のことを疑うと、いろいろな発想ができる、ABCの考え方で考えこまれる。

問題が科学的に できる と思ふ。

みなさんの仮説と検証から、その人の性を今まで分かることはで面白がったです。

前回の課題のフィードバックで他人の回答が面白かった。

科学のABCのHansの考文が注目されていて興味深かうござる。

他の人の意見をきいてどういった考え方であるのかを知る=評議会
で行なう。みんなよくて、それ=!!

1年生のみなさんもそろそろ気づいていると思います。大学の勉強は教科書があれば、一人でもできます。でも、他の人の意見は多様であり、それを共有するのは一人ではできません！

2. 木漏れ日

まさかはるか遠くの太陽の形がこんなにはなれて
私たちの地球にうつしたされているのはほんとうで感動した。

日食の時に、こもれいの形が“変わるのにとても驚いた。自分で実際に確かめていたと思つた。次の日食はいつですか？ 2030年ですか。

木漏れ日は、身近な素材でありながら、意外なBとCの展開ができる好例だったと思います。私も気づいたときには、ハッとした！

3. 空氣遠近法

レオナルド・ダ・ヴィンチはあの時代にすでに空気や音のこと
に気付いていたと気が驚きました。現代に生きている
空気や音のこと気に付けてないで月間に何度もだと感じました。
であります。

そこで、空気遠近法という言葉を初めて知りました。しかし、遠くに見える山やビルはぼやけていたりと日常で思ひあたりのものがありました。今日は少し遠くを見ながら帰ってみたいと思います。

4. アナモルフォーズ

聖書の一番最初の授業で良心告白の絵を知りました。ああ、マリアの腕が長いことには気づきませんでした。タウランは見る角度を計算して絵を描いてるのは、すごいなと思った。天才です。

天才と呼ぶことを誰も否定しないレオナルド・ダ・ヴィンチだからこそ、腕の長さは解釈が必要だと思われているわけです。

また、とても身前にあるアーモンフォースとして車道の文字が思つきました。アートだけではなく我々の安全にもつながると思つきました。

アナモルフォーズという技法が、理屈としてわかると、応用できます。
科学が進むと、技術が発展する、と表現することもできます。

また、とても身近にあるアモルフィーズという車道の文字が
思つきました。アートだけではなく我々の安全にもつながっている
この透視法は、普段の生活において重要な学習を果たしている
かだと感じました。

野球場でも、この技術が使われていることを知ると便利。自分で一日を向いてはやつた部活でやつたため、どこも野球が深かつた。